東郷村報

昭和29年2月15日
發行所
宮崎縣臼杵郡東郷村役場
日向市富高新町
株式會社 安藤印刷所
電話64番

悲願!!農協の振興は成るか？

村長　小野　弘

吾等の農協は吾等の力で興そう

農業協同組合は農家の經濟的中心機關であり精神の寄り處でなければならない。然るに先日新聞の報ずる處に依ると縣下一一二の組合中弱体とみられる組合が一〇組合あると云ふ、悲しいことにわが東郷村農協もこの中に入つているのであつて縣下第五位の廣漠を有し食糧は自給が出來しかも林産物の生産に至つては全縣下の首位を占める本村の農協がかゝる悲慘な姿にあることは誠に遺憾なことであり、今速に原因を探求してこれが振興を圖ることは農家自体としても亦村行政の面からも焦眉の急務であると云わねばならぬ。

現在村の農協は一月二十日現在の試算表によると、貯金、一、五八〇万円、借入金（農林漁業資金を除く）四九二万円、買掛金、六六万円、前受金七六万円、雜負債、二四六万円、出資金、二六三万円、損失金、六四一万円、であり一方預金、一三七万円、貸付金、三四〇万円、賣掛金、一八五万円、前渡金二四〇万円、棚卸資金六〇万円、雜資金、二一三万円、固定資金四九六万円、外部出資二〇八万円、現金六二万

損益に於ては五六三万円の損失と云ふことになつている。

この數字の説明は一應省略するがこれを要約すると運轉資金としては僅か九〇万しか無く組合としては高額の借入金、買掛金、雜負債等があり加ふるに損失金六四一万円（實は七百万円）があり設立後組合員役職員の懸命の努力があつたにかゝわらず全く氣息奄奄たる狀態であるかゝる現狀で推してゆくなら折角の努力も空しく遂に自滅の悲運に遭遇せざるを得ない。將來農家の經濟を考え村の行政を思ふ時誠に暗然たるものがある終戰後大半の單位農協は經營不振に落ち入つていたが今では大多數の組合が立ち直り貯拂いは勿論壹億円以上の貯蓄を有する組合も二、三ある狀態である。

今度新しく選任された役員に於ては以上の事實から内容について眞劍な檢討を加え特に經營改善については次の事項を決定して强行することゝなつた次第である

(1)經營内容を組合員に周知徹底せしめる。

(2)債權の整理を强行し誠意のない者には强制處分を執行する。

(3)出資金の増强、本年度分目標百五十万円の達成を圖る。

(4)外部負債購買々掛金雜負債の整理

早急に整理をし、高額のものは二、三年に解消

(5)林産物の取扱い、早急に農協一本化を實現し目下止むを得ず買取りをしているが將來は委託販賣として生産量の七割取扱いを目標とする。

(6)購買品について、生産資材である肥料、農機具、農藥等を重点的に取扱ふ

(7)製麥工場について、專門の意見もきゝ充分檢討を加えて存廢を決する。

(8)機構の整備、本所職員一五名支所職員三名計一八名とし總務課經濟課の二課制とする。

(9)貯蓄の増强について

本年度末迄に壹千万円を目標に増强を圖る内村興し定期貯金目標六百万円（割増金抽せん券賞品附として許可申請中）

普通貯金目標四百万円

(10)村の援助（本事項は一月十一日村議會に於て次の通り決定）

(イ)組合員の貯金については昭和二十八年米代より村に於て個人補償をする

(ロ)貯拂運轉資金として五百万以内を無利息にて預託する。

(ハ)昭和二十八年度迄の赤字については一年七十万十ヶ年に七百万を補塡する

以上の各項は村の援助を除いて内部經營の方針を明かにしたものであつてこれが實行に移され農協更生の實をあげるには經濟界の安定産業の振興と相俟つて組合員の眞の自覺による協力更に役職員の眞劍な努力によることは勿論である。

「東郷村農協は信賴が出來ない、信賴の出來ないものに協力が出來るか」世上の批判の聲は隨所に聞かされたのであるが靜かに考ゆればこの農協を造つたものは

再建目指して最近の農協

農協再建の礎は築かれつゝある

時がたてば台風が來る、農村恐慌も來よう、あわてふためいた國の施策や、神の力で吾々農家の經濟や生命が安全にしかも幸せに守り得らるゝであろうか、勿論神佛の力も國の保護も必要であろう。然し日常の生活に於ても不慮の災害に於ても自分を救ふものはあくまでも自分であり協同の力であることを忘れてはならない。

農協に對して色々な不平不滿は率直に意見を述べて反省を促すべきであつて此際は一切のゆきがかりを捨てお互を信じ愛鄉の至誠と熱情で固く團結し農協の振興を圖るべきだと思ふ。

運營の衝に當る役職員もこの際は全力をあげて組合員の協力に應え正直者が馬鹿をみたと云ふ長い体驗を再びくり返してはならない。

一、村が最大の援助を與えたこと

二、組合員が一千万円貯蓄を決意したこと

三、各種團体の全面的協力態勢が整つたこと

四、農協事務所の陣容を整えたこと

自分達で作つた農協を信用することが出來ず貯金することも不安であることはおかしな事だが然しこの氣持が今まで皆が抱いていた氣持である。今回村が個人貯金の補償を確約していたゞいたので農協不信は一掃され安心して預金の出來る態勢におかれたことは有難い

然し組合員はこの村の溫情にあまえてはならぬ吾等の農協は吾等の力で興さねばならぬ村に迷惑をかけるようなことがあつては相すまぬ、この覺悟のあらわれが一千万円貯蓄運動である各部落貯金の熱意は昂り着々實行に移されている。

（貯）（畜）（標）（語）

農協とがつちり組んだ貯金村
かゞさぬ貯蓄でかゞやく農協
笑顔で働き感謝で貯金

農協標語

農協へ預けて栄える家と村
家でねるかね農協で生かせ
の貯ばせ殖やそう協貯金
金からやがて農は
は自立の花がさく
金の逃げみち貯金で修学旅行
貯たらいた小遣の畑仕事
の協え預て笑顔家の貯金箱
家同で伸ばせ農農協
農顔で貯金働く

村おこし貯蓄增强に依る部落別目標額

區別	村おこし定期貯金	自由貯金	計
福瀬	八六九、000	五八四、000	一、四五三、000
小野田	七二一、000	四七九、000	一、一九〇、000
鶴之内	五三九、000	三六四、000	九〇三、000
迫之内	六五七、000	四四三、000	一、一〇〇、000
八重原	一六四、000	一一四、000	二七八、000
田野	三九七、000	二七〇、000	六六七、000
羽坂	五五三、000	三七四、000	九二七、000
仲深	五六二、000	三八〇、000	九四二、000
坪谷	九八五、000	六六一、000	一、六四六、000
瀬平	一一六、000	八三、000	一九九、000
越表	三四一、000	二三三、000	五七四、000
下渡川	一〇六、000	七六、000	一八二、000
計	六、000、000	四、〇六一、000	一〇、〇六一、000

森林組合だより

(一)造林用苗木の取扱ひについて

皆さん愈々造林時期になりました。四月に入つて植付けたものは体驗上活着が惡い事は明瞭ですので早目に實行して下さい二月下旬迄に苗木の送付を終る予定です。苗木は堀取後最も日の淺いものが第一條件であると同時に手元に屆いたら一時間も早く仮植をする事が第二の要件です。これが爲

(1)仮植は二十五本束になつていますので束を押し廣げて一本並びとし一列毎に水を與えて根を踏みしめ十分土掛けをする事が大事です。

(2)本植は入念でなければいけない事は分つていますが人夫等の關係で思うように出來ません、務めて左記に添うよう植えて下さい。

1 地拵は一尺四方に枯葉等が混入しないよう土を堀り開くこと

2 植方は苗床で土にいた程即ち下枝の附近迄土を入念に踏みつけて下さい。

3 根は自然のまゝひろげ石其の他取り除いて細かい土で踏みしめ上に附近の枝葉等を以て乾燥を防ぐ

曾つて農協が不況の嵐の前に立つたときでも月々貯金をつゞけて今日に及んでいる學童、婦人會、青年團員それに少數の組合員のあつたことは過去の吾々組合員に對しての一つの反省資料であり將來えの警告であり指針であることを銘記せねばならぬ。

村婦協、青協は合同の役員會を開いて農協振興に全面的協力を申合せ會員一人一口（千円）運動を展開した農協事務機構等についても今回組合員の要望に應えて事務職員を減じて人件費を節し機構の改革を行い優秀職員の適正配置により事務仕事兩面の能率を高め最高度の運營態勢を整えた。

ともあれ農協振興の曉鐘は鳴り響いた、將に農協の夜明だ、組合員は起出た。立ち上つた「興せ農協を」「愛せよ農協を」の掛聲勇ましく農協振興の礎は雄々しく築かれつゝある。やがて眞紅の太陽が東の空に昇り地上に光りと熱を與えてくれるように農協もまた近き將來に吾等農民に力と富を與えてくれるのである。

事如何に良苗でも植方が粗野であれば活着率が惡い事は明瞭です。尙一月號村報に書いた通り反當り二百七十本から三百本より植込みますと予定面積が減じ補助に關係が生じますので密植にならぬ樣に願います。

(二)ユーカリについて

ユーカリは土木事業上にも又はパルプ、木炭原木としても良いと云う事になつていて生長量も大きいようですが今之を大面積奬勵することは一寸差し控えられています。それは日本に單木として成績は、はつきりしているが大規模の造林は試驗途上であるからです。然し二反や三反歩の造林は何れにしても差支えないと思います。詳しくは組合え問い合わせて下さい。

(三)森林區實施計畫が公表になりました。本年度十六森林區（東郷村美々津町）の伐採許容限度は左表の通りです。

用材林		
針葉樹	主伐	廣葉樹
一九、八三三石	三七四石	一、七四五石
薪炭林		
針葉樹	廣葉樹	
二、五六三石	五五、九二九石	

伐期令級以下の立木は右許容限度の範圍内で許可されることになります。

割增金付村おこし定期貯金

一、總額　六百万円

二、一口　千円

三、割增金

特等　一万円　二本

一等　三千円　四本

二等　一千円　六本

三等　五百円　一〇本

四等　五十円　三〇本

五等　三十円　三〇〇本

他に利息四十五円全部につける

四、抽せん券賞品

特等　高級自轉車一台　一本

一等　リヤカー一台　一本

二等　農耕用犁一丁　四本

三等　硫安一俵　六本

四等　スコップ一丁　十本

五等　鎌一丁　一五〇本

東郷村役場事務分担表

（昭和二十七年二月八日現在）

本村では一月二十一日職員の配置替を行いましたので現在の村役場の事務擔任者をお知らせします。

村長　小野弘
助役　黒木松美
収入役　中野義男

一、總務課　課長主事　渡邊義春

課係名	主任者	係員
①庶務係（選擧を含む）	總務課長　兼任	
②厚生係	書記　寺原壽夫	主事補　新名秋二 書記補　塩月道子 書記　簗瀬亀夫（自動車專任）
③衛生係	書記　三浦淳	書記補　寺原郁子
④消防係	書記　東村吉市	
⑤國民健康保險係	主事補　簗瀬春美	書記　都甲伊助 保健婦　鎌田春子
⑥戸籍住民登錄係	書記　柳田恒雄	書記補　草野昭二 書記補　小林錬一

二、經濟課　課長主事　水野彰三

①農務係	主事補　矢野直	書記補　富山貞天
②林務係	技師　小林松男	書記補　清水清
③商工水産係	書記　黒木勝	
④土木建築係	書記　伊藤信次郎	書記　矢野久利
⑤耕地係	技師　三原辰己	
⑥畜産係	技師　海野勝	
⑦養蠶係		

三、税務課　課長心得主事補　木村誠

①賦課係	書記　福良善男	書記補　本田茂雄 書記補　海野千代齊
②徴收係	書記　海月景幸	書記補　川越久子 書記補　山口俊一 書記補　矢野望子 書記補　寺原辰子

四、出納室　室長　收入役兼任

①會計係	收入役兼任	書記補　畝原正義 書記補　甲斐てるみ

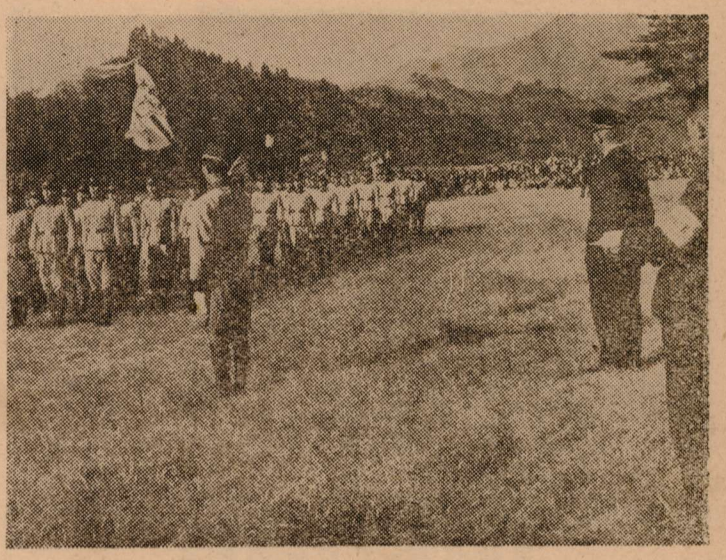
⊙村議會　書記長　新名秋二

⊙村農業委員會

①農業委員會	書記　塩月操	書記　矢野森一郎

⊙村教育委員會　教育長　塩月儀市

①總務係	書記　飛高映一	書記補　若林義和
②學校教育係	書記　飛高映一	書記補　若林義和
③社會教育係	主事　志知島敏身	主事　那須幸雄



出初式風景

消防出初式盛大に擧行さる

昭和二十九年新春劈頭を飾る本村恒例の消防出初式は去る一月七日鶴ノ内旧東郷橋下川原に於て各關係者及來賓多數參列のもとに盛大に擧行された。この日こそ六十余年の光輝ある傳統を誇る本村消防團の最大の行事だけに團員の意氣は極めて軒昂早朝より寒氣をついて定刻前に集合を終り嚴正なる各部点檢を始め息結まる標的落下、六六〇名團員の堂々たる分列行進など早朝より眞劍なしかも一糸亂れぬ迅速果敢な行動は有事の際に備えて聊かも狼敗の念を抱かせない實力そのものであり本村消防團の姿である全參觀者をして力強い感動を與えて意義深い出初式を無事終了した。本年の出初式を通して施設器財の充實と團員の訓練の強化など從來より著しく向上した感があり、これ村民各位の支援と團員の熱意と努力によるものであつて深く感謝の意を表すると共に今後共尚一層の精進を望みたい。

而し私共は如何に優秀なる消防の備があつても私共一人一人が日頃から火災予防に不斷の努力を盡し民衆と消防が渾然一体となつてこそ日常生活における不安が除かれるものであるということに思いをいたし今後益々消防力の强化擴充に全面的協力をしなければならないと思う。

出初式當日の成績は左の通り

綜合成績
一等第八部（鶴ノ内）
〃　二等第十部（田野）
〃　三等第三部（迫ノ内）

標的落下成績（動力ポンプの部）
〃　一等第一部（小ノ田）　タイム　二分二三秒二
〃　二等第六部（越表）　二分四一秒
〃　（腕用ポンプの部）
一等第八部（鶴ノ内）　二三秒三
二等第九部（八重原）　二八秒二

東郷村國民健康保険直營診療所建築起工式

昭和二十九年の新春を迎え東郷村國民健康保險事業は着々その歩を進め村民の保健と衛生思想普及の第一線に活躍している。

一月六日我々待望の直營診療所の起工式が各關係者の參列を得て擧行された。

この診療所は一部國費の補助を得ているが大部分が村費である。村税の完納には特段の御協力を御願したい尚この建築費には保險税は全く使わないことにしている。

診療所は建坪一三〇坪醫師二名、内科、外科、産婦人科に分け病床九を有しレントゲンも設備することにしている。

竣工は四月になると考えられるが竣工の曉には村民の醫療機關として又保健相談所として利用して戴くばかりでなくこの機關を動員して各部落に保健施設を進めてゆく考えである。

名稱は東郷村國民健康保險直營診療所と呼ぶ。

この施設は村民がつくる醫療機關であり保健相談所である。

大いに利用すると共にこの事業に絶對の御協力を御願いする。

ふるさとの歌

牧水

前の山のまろみうれしく眺め入る山田のくろの枯草深し
いづかたの山焼くるにかきさらぎの冷たき空に煙なびけり
余念なきさまには見ゆれ頬かむり母が芹つむきさらぎの野や
山河みな古き陶器のごとくなるこのふるさとの冬を愛せむ
わが庭の竹の林の淺けれど降る雨見れば春は來にけり

診察料はたゞで　死んでも共済金が貰える

家畜共済一元化とは何か？

問一元化一元化と言いますがどんな事ですか

答一口に言えば家畜の死亡癈用共済と疾病傷害を一本にする事で今迄は別々に掛金をかけていたのを今度は一度かけておけば病氣の時は無料で診て貰えるようになつたわけです。

問なるほどよく分りましたが掛金はどうなりますか

答今迄より安くなります今度は疾病共済にも國から補助が出るようになつたためです。

問若し都合で開業獸醫で診て貰う時はどうなりますか。

答共済組合の承認を得ればよいのです。

問死んだ場合はどうなりますか。

答今迄と同じように共済金が貰えます。

問去年牛が病氣になつて診療を受けた時点數が一杯だからあとは金を拂えと言はれましたがこの關係はどうなつたのですか。

答今迄は治療費が牛千円馬二千円になると共済による無料診療は打切られあとは自分で金を拂はねばならず再び共済で診療して貰うには掛金を拂つて加入し直さねばなりませんでした今度は一年間なら何回かゝつても無料です。

只一つの病氣例へば悪性の消化器病にかゝつたとしますとその診療点數が一杯になつてもなお治らぬ時はあとは自分で負擔せねばならない事は同じです、しかし別の病氣とかケガしたとか前に治つたが再發したとか言う場合は又その点數迄は無料で診察して貰えます、この制限は加入した共済金額に依つて違いますが次のようなものですが今迄よりずつと有利になつたはずです。

一、事故についての点數制限表

共済金額	農牛	農馬
一万円	二十三点	二十八点
二万円	二十九点	三十五点
三万円	四十点	四十八点
四万円	五十二点	六十二点
五万円	六十二点	七十五点
六万円	七十四点	八十七点
七万円	八十五点	百一点
八万円	九十七点	百十六点

問なる程今迄よりトクなようになりましたね

答それで東郷村の牛馬は全頭加入する事に依つてお互の家や村を災害から護る事が共済組合の使命でもありますのでより以上の御協力をお願しておきます。

KT

緩和された自家用屠殺

先般の屠畜場法の改正により本村も自家用屠殺が從來よりも幾分緩和されましたのでその要点をお知らせします。

從來の自家用屠殺は肉の量の如何にかかわらずあくまで自分の家族ばかりで食用にする場合にのみ許可されていましたが今度の改正で個人又は四、五人が共同で屠殺して食用に供することが認められることになりました。

然し自家用屠殺は原則として自己及びその同居者の食用にすることでありまして學校、事業所、組合など多數の者の食用にする場合は別であります。自家用屠殺をする場合の手續については

はその肉を利用する者の住所、氏名、職業（共同の場合は連名）等を所定の屆書に記載し、屠殺前五日までに縣知事宛に保健所に屆出をして次に屠畜檢査申請書をやはり右の屆書に準じて提出し保健所長の指示を受けねばなりません。

以上の様に法が緩和されたことは勿論國民の健康を保持增進することがねらいでありますから大いに利用されることを望まれていますがこゝで注意しなければならない事は若し屆書に記載された者以外に肉を販賣したり又はどんな方法であつても讓渡したりした場合は兩方共法により懲役又は罰金に處せられます。

▽盛会だつた成人式△

街や村に若人の巣立を祝福する喜こびの聲がみちあふれた一月十五日、晴着に身をかためた成人者一九二名と來賓者多數が東郷公民館に參集し午前十一時開式國家合唱の後塩月村教育長から代表者に成年證書と記念樹を贈り、村長初め各界代表の祝辭と祝電の披露があつた。

成人者を代表して田原長生君が「社會人として立派に成長し、皆様の御期待に應へる」と力强い答辭を述べた。式後引續き縣教育委員、河谷裕俊氏の熱誠溢る記念講演會が一時間有余に亘り開かれ若人の希望を一段と鼓舞した。

午後二時半から紅白の饅頭を手にしながらなごやかな祝いの會が催され晴の日にふさわしい雰圍氣のもとに盛會裡に終り、記念撮影をなし四時解散した。

編輯後記

◎半身不隨の狀態にあつた農協も村民各層の協力によつて愈々立ちあがる態勢が出來たことはよろこばしいこれからは組合員の心意氣によるもの、一つ農協再建に力を竭して東郷村民の底力を天下に示す事にしようと

◎農協が差當りの振興策の一つとして一千万円貯蓄增强に乘出したことは結構な事だ、農協え預けて村が肥え國が榮えるのだ。

◎自分の生活を靜かに反省してみると案外冗費があるようだ。初めからあまり大きいことを考えても貯金はむづかしい。零細な金でよいから毎日毎日積むことだ塵も積れば山となる。

九仞の山も一簣の土からだ。ころばぬ先の杖こそ大事だ一錢を笑う者は一錢に泣く事がある。ためる氣でためればきつと貯る金だ。

◎立春も過ぎたが寒氣はまだ烈しいが春待つ草や木の蕾は百百ふくらんでいく春近しの感が深い、ここに二月號をおくる御味讀を乞う

梅一輪一輪ほどの暖かさ

お正月

寺迫小二年　水野彰治

もうすぐお正月、あゝやがてお正月がくる。たのしいなあ。たこあげができる。こまもかつてもらえる。はねつきのおとも、きこえてくるだろう。ぼくはお正月のたのしいことを思う。もちつきのおともはねつきの音もきこえてくる。まだまだうれしいことは、のべおのかかいしやにでているおねえさんも、かえつてくるやくばのおとうさんもかえつてくる。みやざきのけいさつにでている、にいさんもかえつてくる。おねえさんからはなんのみやげがくるかしら。たぶん本だろうおとうさんからはなんだろう。がばんをかつてきてくれるといいんだがなあ。にいさんはなんだろう。

ぼくは、ぼうしがないからぼうしをかつてきてくれるといいんだがなあ。いまからお正月がみをだがなあ。いまかりません。お正月には、じまどうしくてなだこや、やつこだこもあげてあそぼう。はやくお正月がくるといいなあ。